

「Bionic Jack Racing JAPAN FIA-F4 スカラシップ」
2020年初代のスカラシップドライバーは「澤 龍之介」選手に！



我々 Bionic Jack Racing は、2 年間 FIA-F4 選手権において石坂瑞基選手を起用し、走行データやノウハウを蓄積しながらレースへの参戦を続け、表彰台に上られるまでの実績を積み上げて参りました。

FIA-F4 参戦 3 年目を迎え、ステップアップを目指す若手選手を育成したい、との思いから、2020 年シリーズではスカラシップ制度を採用し、全国から希望者を募りました。

「Bionic Jack Racing JAPAN FIA-F4 スカラシップ」初のドライバー選考にあたり、多数のご応募をいただいたため、1 月中旬に書類選考を実施し、2 次選考は富士スピードウェイにて 4 名のドライバーによる走行オーディションを行いました。そして、厳正なる選考の結果、2020 年初代のスカラシップドライバーを「澤 龍之介」選手に決定し、サポートすることになりました。

澤選手は、2015 年～2017 年全日本カート選手権の地域クラスチャンピオンを獲得し 16 歳早々に 4 輪レースに出場できる限定ライセンスを獲得！

2018 年には、4 輪レースの登竜門である鈴鹿 S-FJ シリーズに参戦し 5 位！

翌年 2019 年には鈴鹿 S-FJ のシリーズチャンピオンを獲得した有望な若きドライバーです。4 月 11～12 日の岡山国際サーキット開幕デビュー戦ではどんな走りを見せてくれるのか、チームとしても大きな期待を寄せております！

◆ 澤 龍之介 (Sawa Ryunosuke) 2002 年生まれ 18 歳

◆ ドライバー コメント

私は、休日に祖父と父がサーキットに通う環境の中、10歳の時に初めてカートに乗車しました。祖父と父はそれなりの速さでしたが、11歳のときには二人のタイムを上回り、人よりも速く走ることへのこだわりが強くなり、レーシング界に憧れを抱くようになりました。16歳になり自動車工房 MYST さんのメンテナンスで Super-FJ 選手権にチャレンジすることになり、1年目の2018年は5位、2年目の昨年はシリーズチャンピオンになることができました。ステップアップを考えていた昨年暮れ、今回の Bionic Jack Racing JAPAN FIA-F4 スカラシップ制度を広告で知り、すぐに応募しました。

今回のスカラシップオーディションは富士スピードウェイで行われましたが、これまでに走行した主なサーキットは鈴鹿、ツインリンク茂木、岡山国際サーキットでしたので、走行回数が少ない富士は少し不利に感じていました。最初はコースやマシンの様子を見ながら走り始め、徐々に攻めていき、少しずつタイムを上げていきました。選考の結果が気になる日々でしたが、オーディション合格の通知が届き、すぐに練習などでお世話になっている方々に連絡をしました。これからが大変なので頑張っ！、と多くの方々から励ましと応援のお言葉をいただき、改めて FIA-F4 選手権で力の限り戦うことを誓いました。その日は家族も喜んでくれて、家族揃って焼肉をいただきました。

小さい頃からサーキットに通い、目の前で GT カーが猛烈なスピードで走る姿を見て、将来、GT500 やスーパーフォーミュラで活躍できるようなドライバーになりたい、と思いながらカートを続けてきました。目標へ向かって練習に練習を重ね、カートでは 2017 年 FS-125 クラスチャンピオンになり、2019 年 Super-FJ 選手権でも鈴鹿クラブマンレースチャンピオンになれたことは、自分にとって大きな自信となりました。新たに挑む FIA-F4 選手権では、まだ走ったことのないコースもあります。実際の練習走行だけでなく、可能な限りシミュレーターなどを活用して、常に優勝を目指し、シリーズチャンピオンという目標を持って、努力していきたいと思います。

